

提案型協働事業評価シート

資料 7

実施年度	令和 6 年度
事業の名称	傾聴ボランティア養成研修
団体名	傾聴ボランティアやまぶき
担当課名	高齢者福祉課

【推進委員及び庁内委員による総合評価】

結果	協働事業の評価
○	当該協働事業を実施したことで、具体的に市民サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものである。
	ほぼ適切な協働事業として評価できるものである。
	協働事業として、うまく機能しなかった。
協働事業に関する総評	
傾聴ボランティア養成研修については、市と事業目的を共有し、互いの役割分担を明確にした上で、団体が担当部署からの助言を受けながら協働で事業を行えたことが評価できます。年2回の研修会を意欲的に開催し、第1回初級講座は58名、第2回中級講座は59名と多くの参加者があり盛況であったことから、この研修の市民ニーズの高さが伺えます。また参加者アンケートから講師の講義内容やロールプレイング実践について、好意的な意見・評価が多数を占めており、充実した研修内容であったことが伺えます。傾聴については、家庭・職場・ボランティアなど多くの場面で実践や活用ができること、参加者にケアマネージャーや民生委員など多様な対人援助の実践者が参加していたことから、各自の傾聴スキルの底上げに繋がったことも伺えます。 また、現在ボランティア活動について行っていないが、何かしてみたいという考えを持った参加者もあり、ボランティア人材の掘り起こしの効果があったことも伺えます。市民や時代のニーズに即した事業であり、今年度の団体の反省点であった時間配分の検討を行い引き続き事業実施し、地域の助け合いや声掛けが活発化していくことで、高齢者の社会的孤立の防止、幸福感の維持を高め、生き活きとして誰もが住みやすくなるような街づくりに寄与していくことを期待します。	

